

ロータスアンカー工法による 地山補強方法

(Nailed Reinforcement Soils Using Lotus Anchor Method)

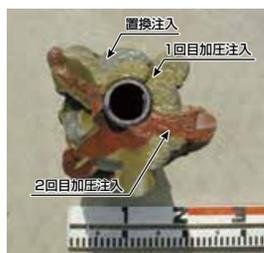
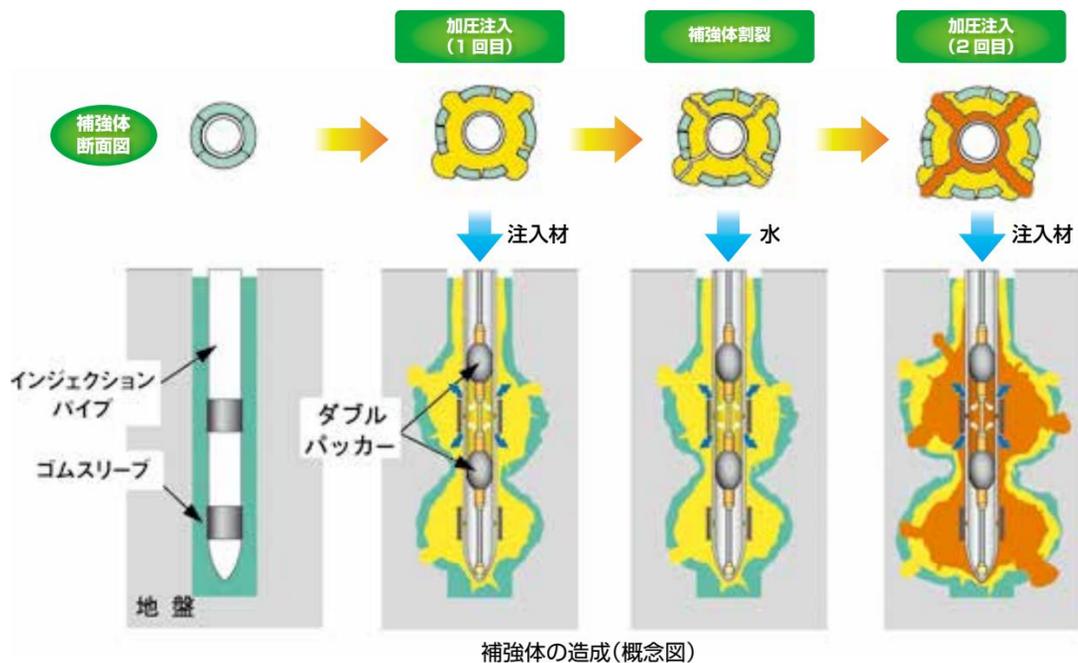
【概要】

ロータスアンカー工法は、繰返し注入により補強体を造成する地山補強土工法です。

盛土・切土法面、自然斜面に適用が可能であり、粒径が大きな礫質土や硬質な地盤等、様々な地盤条件において施工可能です。

【特徴】

- 繰返し注入により補強体を拡大することで、大きな引抜き抵抗力を得ることができます。
- 小型の削孔機を使用するため、狭隘な場所で施工可能になります。
- 繰返し注入は別工程で施工できるため、作業可能時間が短い現場でも施工可能です。



施工法と造成した補強体の例

【用途】

変状した既設の石積み壁や法面の補強や、耐震補強に適用できます。

<p>一般的な地山補強土工 (削孔径=135~170mm)</p>	<p>ロータスアンカー工法 (削孔径=115mm、改良径=230mm)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・改良径に応じ施工機械が大型化 ・口元削孔も大径化 ・削孔~改良を一度に完了させる必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工機械が小型 ・口元削孔も小径化 ・削孔径よりも大径(1.5倍~2.0倍)の補強材を造成可能 ・削孔と改良を別工程で実施可

既存工法との比較



施工順序

特許第6320850号、第6259750号、第6322542号、第6322543号

【実施例】

盛土・切土法面、自然斜面の補強に鉄道事業者で活用されています。

担当 構造物技術研究部(基礎・土構造研究室)